

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年8月16日（月）

### 2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアW1
- ・瓦礫類一時保管エリアP（P1、P2）

### 3 確認項目

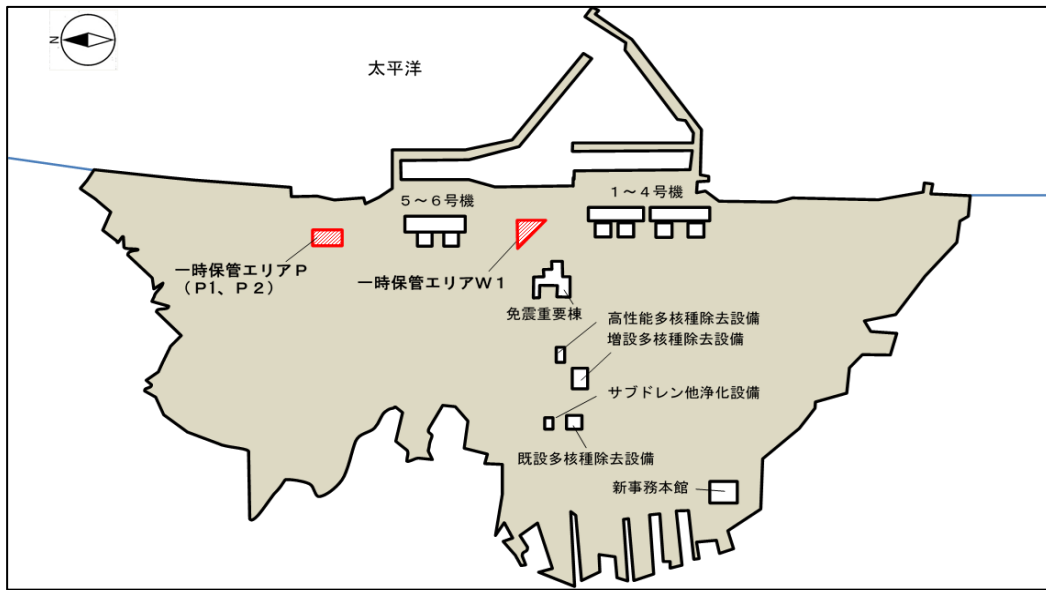
- （1）瓦礫類一時保管エリアW1の現況確認
- （2）瓦礫類一時保管エリアPの現況確認

### 4 確認結果の概要

- （1）瓦礫類一時保管エリアW1の現況確認について

瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）P2において、保管されていたノッチタンクの一部の蓋がずれて放射性物質を含む雨水が流出した可能性があることを受けて、屋外でノッチタンクを保管している一時保管エリアW1の状況を確認した。（図1）

- ・ノッチタンクは1～2段積みで保管されており、一部のノッチタンクには錆などの劣化が見られたが、確認した範囲で内容物の飛散、流出は確認されなかった。（写真1）
- ・現場確認時、当該ノッチタンクを雨除け用のシートで覆うための作業が行われていた。（写真2）
- ・東京電力によれば、屋外で保管しているノッチタンクは計417基、その内一時保管エリアW1には27基を保管しており、8月10日に蓋の状況をドローンで調査した結果、2基の天板に計4箇所の穴があることを確認し、同日に目視の範囲でノッチタンク内に雨水がないこと、周囲に水の溢れや内容物の飛散の形跡がないことを確認するとともに、ノッチタンク上部を雨除け用のシートで養生し、雨水が流入しないための対策を施したとのことであった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
ノッチタンクの一部



(写真2)  
シート養生作業の状況



(写真3)  
シート養生されたノッチタンクの状況

## (2) 瓦礫類一時保管エリアPの現況確認について

一時保管エリアP2に保管されていたノッチタンクの一部の蓋がずれて放射性物質を含む雨水が流出した可能性があることを受けて、8月11日以降活発な前線の影響で降雨が続いたことから、一時保管エリアPの状況を確認した。(前回確認：[令和3年7月19日](#)) (図1)

- ・エリア南側入り口付近では、東京電力社員が周辺の地表面のモニタリング調査を行っていた。(写真4)
- ・エリア内には連日の降雨により、複数の水溜まりができていたが、目視した範囲で内容物の飛散や流出、ノッチタンクを養生したシートやゼオライト土嚢のズレや破損等は見られなかった。(写真5)
- ・東京電力によれば、エリア内に保管しているノッチタンクの管理強化やエリア周辺の排水枡及び排水溝への放射性物質流入抑制対策を進める等、引き続き一時保管エリアの管理方法等に対する対策を進めていくとしている。



(写真4)  
モニタリングの実施状況



(写真5)  
ノッチタンクの状況

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。